

事業の内容及び効果に関する写真

ダンリ市山間部における思春期リプロダクティブヘルス推進プロジェクト（フェーズ2）
特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構



【活動1】フティアパ保健所のピアルームを活用して、HIV/AIDS 予防啓発掲示板を作成した、保健所長のアビラ医師（右から2番目）とピアリーダー達。



【活動1】ダンリ市中心部のエル・パライス県保健事務所の会議室において、対象4保健所の医師、看護師を対象に研修を実施した。研修は、各保健所の思春期層に対する活動への取り組みを共有する場ともなった。



【活動1】ヴィジャ・サンタ地区保健ボランティア研修の様子。思春期層の妊婦が多い地区の保健ボランティアを選定し、研修後は、ピアリーダーとともに思春期層への啓発活動を強化し、家庭訪問を行った。



【活動2】チチカステ地区の新規の学校教師に対する研修の様子。思春期リプロダクティブヘルスは、学校で思春期層と接する教師たちにとっても重要なテーマで、研修後は生徒からの質問に、より自信をもって回答できるようになったという意見が多かった。



【活動2】サン・ディエゴ地区の保護者を対象にフォローアップ研修を実施した。1年次と比較し、思春期の自分の子どもへの理解が進み、普段の会話の中でもリプロダクティブヘルスについて触れる機会も出てきたと話す保護者もいた。



【活動3】ヴィジャ・サンタの学校におけるピアリーダーへのフォローアップ研修の様子。同校のピアルームで行われた。思春期リプロダクティブヘルスをはじめ価値観やジェンダーをテーマに取り上げたが、積極的に発言するピアリーダー達が印象的だった。

事業の内容及び効果に関する写真

ダンリ市山間部における思春期リプロダクティブヘルス推進プロジェクト（フェーズ2）
特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構



【活動4】チチカステにおいて、ピアリーダー、保健所スタッフ、保健ボランティアが地域の思春期層を集め、思春期リプロダクティブヘルスに関する活動を実施した。本事業スタッフも活動に同行し、ピアリーダーをサポートした。非就学の思春期層も含まれた。



【活動4】フティアパで行われたサッカー大会の場外で、思春期の女性達に、啓発活動を行うピアリーダー達。思春期リプロダクティブヘルスに関するパンフレットを手渡し説明しているところ。



【活動4】サン・ディエゴの学校内で、ピア教育を行うピアリーダー達。啓発活動に使用する教材などは、休憩時間や放課後に集まって準備した。



【活動4】ヴィジャ・サンタの学校で思春期層の生徒たちに研修テーマに関するテストを実施した。事業開始時と終了時で比較し、ほぼ全員が知識を向上させた。写真は終了時テストに回答中の生徒たち。



【活動4】フティアパの学校のピアリーダー達。新入生の中学1年生に対し、思春期リプロダクティブヘルスについて説明しているところ。ピア教育は事業終了後も、学校教師や保健所スタッフの協力を得ながら、ピアリーダー達により継続される。



【活動3】エル・パライズョ保健事務所長アルヘニヤル医師が、4地区合同ピアリーダー会合に出席し、ピアリーダー達の活動を激励した。また各保健所の思春期層への対応を強化するため、心理カウンセラーの人員配置を進め、思春期妊娠予防を支援していきたいと発言した。